

# 文教福祉委員会

令和8年7月 24 日

## 1 報告事項

### 【子ども部】

(1) 令和8年度 ちよだ学びフェスについて

【資料】

### 【保健福祉部】

(1) 千代田区立神田錦町福祉施設について

【資料】

(2) 千代田区高齢者プランの改定について

【資料】

## 2 その他

## 令和8年度 ちよだ学びフェスについて

### 1 事業概要

#### (1)名称

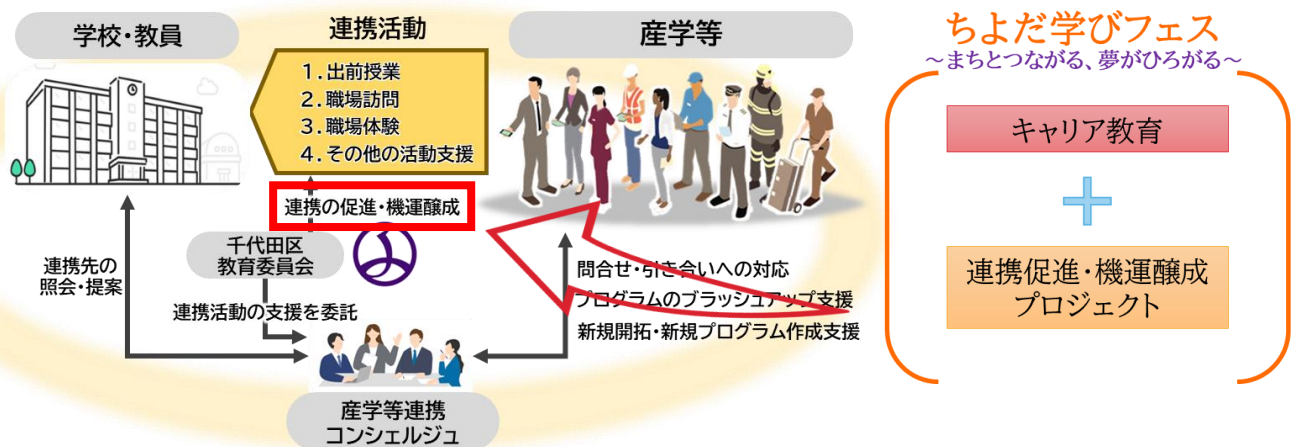
ちよだ学びフェス ～まちとつながる、夢がひろがる～

#### (2)目的

子どもが大学、企業、官公庁等と連携した多様な体験活動や出前授業を通じて実社会に触れ、将来の関心や可能性を広げる機会を提供する。

また、学校教育と地域の学びをつなぐとともに、産官学の連携によるキャリア教育を推進し、子ども一人ひとりの主体的な学びを支えることを目的とする。

#### 千代田区産官学連携スキーム



### 2 令和8年度の実施予定

#### (1)ちよだ学びフェス mini

区役所4階会議室を活用し、7団体程度による体験・出前授業を実施する。コンパクトな規模としつつも、本祭と同程度の学びの質を確保し、多様な学びの機会を提供する。

【開催日】令和8年9月26日(土)予定

【対象】小中学生の区民(申込制)

## (2)出張ちよだ学びフェス

企業・団体等の職場を訪問し、現場の雰囲気や働く人との交流を通じて、教室・会議室では得難い実践的な学びの機会を提供する。

【開催日】令和8年 11 月 14 日(土)予定

【対象】小中学生の区民(申込制)

## (3)ちよだ学びフェス(本祭)

区民ホールを中心に約 30 団体による出展やオープニングセレモニーを実施する。多様な体験プログラムを展開し、本事業の中核となる取組として実施する。

【開催日】令和 9 年 1 月 7 日(木)予定

【対象】小中学生の区民等(自由参加)

区立小中学校の教職員(今後の学校教育での連携促進のため)

## 千代田区立神田錦町福祉施設について

### 1 指定管理者の選定について

千代田区立神田錦町福祉施設条例の附則（準備行為の実施）に基づき、1、2階の地域交流機能の運営及び施設全体の維持管理を行う指定管理者を選定する。

なお、令和5年度に実施した「（仮称）神田錦町三丁目施設整備等業務」の公募型プロポーザルの中で、維持管理・運営業務期間を施設竣工から10年後の年度末までの期間として公募を行い、維持管理運営予定者を選定済みであることから、募集方法については非公募とする。

### 2 愛称の選定について

本施設は、高齢者や障害等のある方をはじめ、多様な区民が利用し、地域交流や社会参加の拠点となることを目的として整備するものである。

より多くの方に親しまれ、愛着を持って利用いただく施設とするためには、地域住民や利用者の思いが反映された施設名称とすることが重要であることから、広く区民等から募集の上、施設の趣旨や役割にふさわしい愛称を選定する。

### 3 その他

#### （1）作業工期の延長見込み

想定しない地中障害物の対応等、新築工事期間中において各種の遅延要素が生じたことから、施設の竣工及び開設について少なくとも2か月程度延長する見込みがある。

（延長後の竣工時期：令和9年6月、開設時期：令和9年9月）

なお、工事に当たっては区道整備を行う部署と連携し、施設周辺の道路においてもバリアフリーに配慮した整備が行われるよう調整を図る。

#### （2）インフレスライドの対応

新築工事における第1回契約変更以降の変動に対し、インフレスライドの請求が工事施行者から提出される見込みである。

### 4 今後の予定

|        |                             |
|--------|-----------------------------|
| 令和8年9月 | 指定管理者の募集開始、愛称の公募開始          |
| 10月    | 指定管理者候補者の決定、愛称の決定           |
| 11月    | 令和8年第4回定例会への議案上程（指定管理者の指定等） |
| 令和9年1月 | 指定管理者の指定                    |
| 3月     | 指定管理者との基本協定の締結              |
| 6月     | 施設竣工<br>指定管理者による管理開始        |
| 9月     | 施設開設                        |

## 千代田区高齢者プランの改定について

### 1 計画策定の目的

本計画は、高齢者福祉計画、介護保険事業計画及び認知症基本計画を一体的に作成することにより、介護保険サービス、高齢者福祉サービス及び認知症施策を相互に連携させ、高齢者を取り巻く課題に総合的かつ計画的に対応することを目的とします。

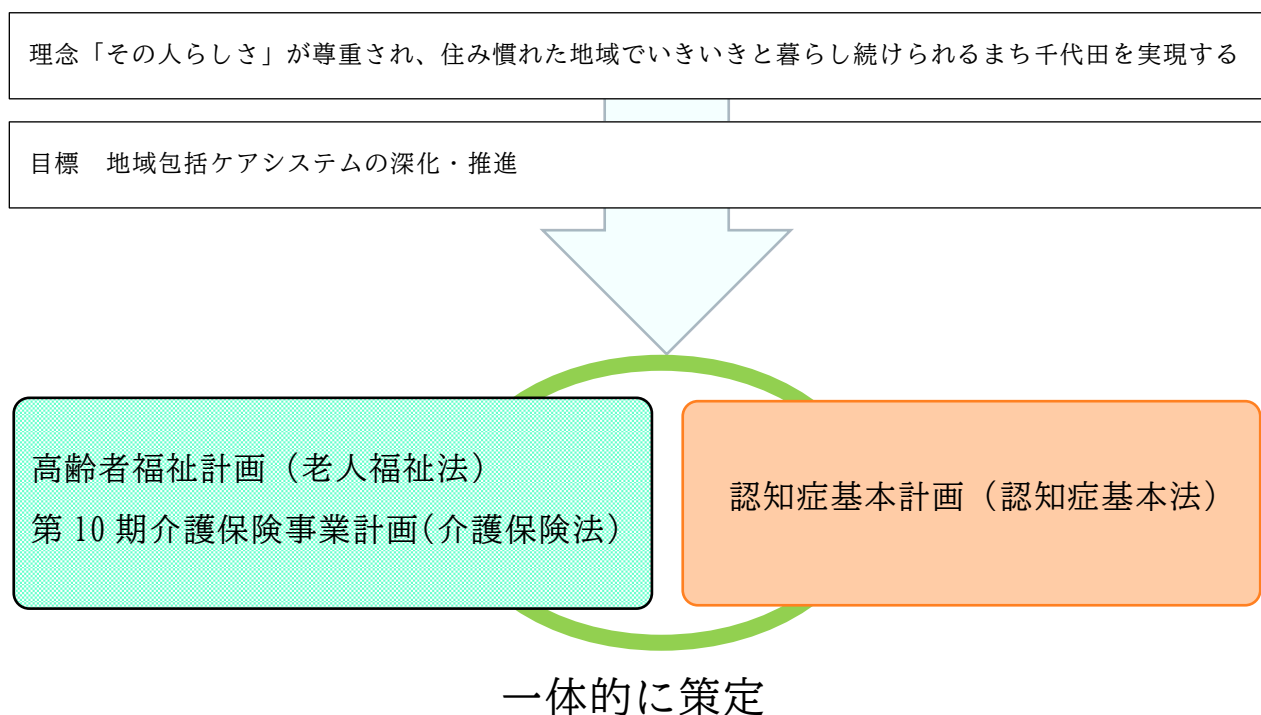
### 2 計画期間

令和 9 年度から令和 11 年度までの 3 年間

### 3 計画の位置づけ

- (1) 高齢者福祉計画（老人福祉法第 20 条の 8 による法定義務計画）
- (2) 第 10 期介護保険事業計画（介護保険法第 117 条による法定義務計画）
- (3) 認知症基本計画（共生社会の実現を推進するための認知症基本法第 13 条による法定努力義務計画）

### 4 計画体系図



## 5 高齢者福祉計画及び第 10 期介護保険事業計画において記載する事項

厚生労働省では、社会保障審議会介護保険部会の「介護保険制度の見直しに関する意見」等を踏まえ、高齢者福祉計画及び第 10 期介護保険事業計画において、主に以下の事項について記載するよう検討を行っています。

- (1) 介護サービス基盤の計画的な整備
- (2) 地域包括ケアシステムの深化
- (3) 介護人材確保と職場環境改善に向けた生産性向上、経営改善支援等

## 6 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、在宅介護実態調査

別紙のとおり

## 7 認知症基本計画の策定について

### (1) 計画策定の背景

日本における令和 4 年（2022 年）の認知症の高齢者数は約 443 万人、軽度認知障害（MCI）の高齢者数は約 559 万人と推計され、その合計は 1,000 万人を超え、高齢者の約 3.6 人に 1 人が認知症又はその予備軍と言える状況にあります。推計で得られた認知症及び軽度認知障害の有病率が今後も一定と仮定すると、令和 22 年（2040 年）にはその人数が約 1,200 万人（認知症約 584 万人、軽度認知障害 613 万人）、高齢者の約 3.3 人に 1 人になると見込まれ、認知症はいまや誰もがなりうるものであり、自分ごととして考えるべきものです。

区では、認知症基本計画を、千代田区高齢者福祉計画・第 9 期千代田区介護保険事業計画と一体的に策定しました。引き続き、令和 5 年（2023 年）に成立した「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」（以下、「認知症基本法」という。）の趣旨に基づき、認知症の人が、住み慣れた地域で安全に安心して暮らせる「共生社会」を実現するため、千代田区高齢者福祉計画・第 10 期千代田区介護保険事業計画と一体的に策定します。

### (2) 計画の位置づけ

本計画は認知症基本法における市町村認知症施策推進計画に位置付けるとともに、法の趣旨に基づき第 10 期千代田区介護保険事業計画と調和のとれた計画とします。

## 8 これまでの経過及び今後の予定

|         |                                            |                     |
|---------|--------------------------------------------|---------------------|
| 令和7年9月  | 認知症ケア推進チーム定例会にて認知症基本計画策定を提案                | 月例定例会で内容を議論         |
| 令和8年4月  | 第1回介護保険運営協議会                               | 高齢者福祉計画等に関する諮問      |
| 令和8年6月  | 在宅医療・介護連携推進協議会<br>認知症連携推進部会                | 認知症計画重点事項等確認        |
| 令和8年8月  | 第2回介護保険運営協議会                               | 高齢者福祉計画等の骨子・重点事項等審議 |
| 令和8年9月  | 在宅医療・介護連携推進協議会<br>認知症連携推進部会                | 認知症計画素案             |
| 令和8年10月 | 第3回介護保険運営協議会                               | 高齢者福祉計画等の素案等審議      |
| 令和8年12月 | パブリックコメント                                  |                     |
| 令和9年1月  | 第4回介護保険運営協議会                               | 高齢者福祉計画等に関する答申      |
| 令和9年3月  | 高齢者プラン策定<br>(高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画・認知症基本計画) |                     |

## 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、在宅介護実態調査〈概要版〉

### 1 調査の目的

第10期千代田区介護保険事業計画（千代田区高齢者プラン）の策定にあたり、要介護状態になる前の高齢者のリスク、社会参加状況の把握及び効果的な介護予防施策の立案・効果検証のためにニーズ調査を実施し、基礎資料となるデータの収集及び分析を行い、地域の抱える課題を特定することを目的とする。

### 2 調査の種類

| 調査名              | 調査対象                                                       |
|------------------|------------------------------------------------------------|
| 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 | 千代田区の65歳以上の区民で要介護1～5以外の方                                   |
| 在宅介護実態調査         | 千代田区の在宅で生活している要支援・要介護認定を受けている区民のうち、更新申請・区分変更申請に伴う認定調査を受ける方 |

### 3 調査方法と回収状況

○介護予防・日常生活圏域ニーズ調査  
調査方法：郵送によるアンケート調査

調査期間：令和7年12月1日～12月24日

○在宅介護実態調査  
調査方法：介護認定調査員による聞き取り調査

調査期間：令和7年11月～令和8年2月

#### 〈回収状況〉

| 調査名              | 発送・聞き取り数 | 回収数                               | 回収率    |
|------------------|----------|-----------------------------------|--------|
| 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 | 4,000件   | 紙 1,994件<br>Web 358件<br>合計 2,352件 | 58.8%  |
| 在宅介護実態調査         | 152件     | 152件                              | 100.0% |

#### 4 調査項目

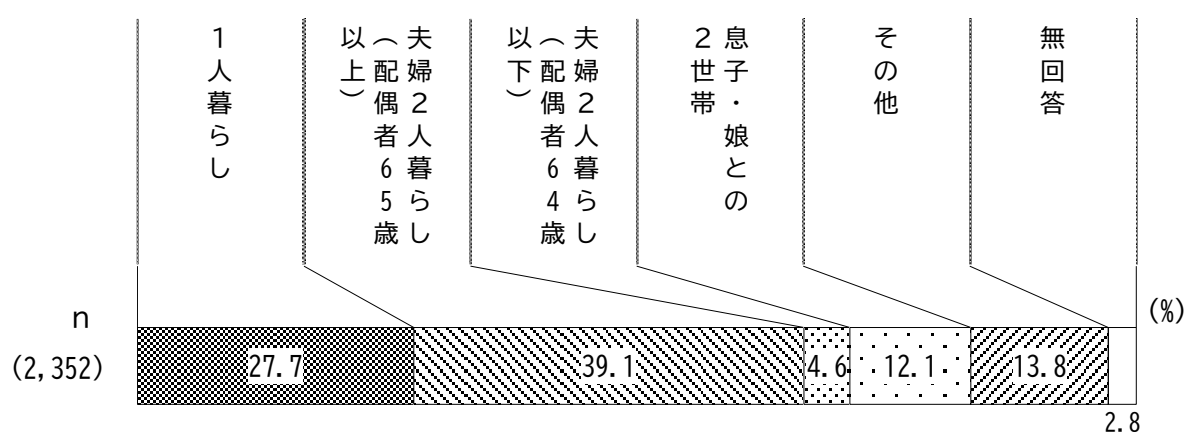
| 調査名                                     | 調査項目                                                                                                                                                                                    |
|-----------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査<br>【設問数：69問】<br>※前回70問 | 1. あなたと家族の生活状況<br>2. からだを動かすこと<br>3. 食べること<br>4. 毎日の生活<br>5. 地域での活動<br>6. 就労<br>7. たすけあい<br>8. 健康<br>9. 歯と口腔<br>10. 認知症                                                                 |
| 在宅介護実態調査<br>【設問数：10問】<br>※前回9問          | 1. 世帯類型<br>2. 家族等による介護の頻度<br>3. 主な介護者の年齢<br>4. 介護を主な理由として仕事を辞めた人<br>5. 入所・入居の検討状況<br>6. 主な介護者の勤務形態<br>7. 働き方についての調整<br>8. 介護をしながら働き続けることの見込み<br>9. 効果的な勤め先からの支援<br>10. 主な介護者が不安に感じている介護 |

#### 5 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 調査結果

##### (1) あなたと家族の生活状況

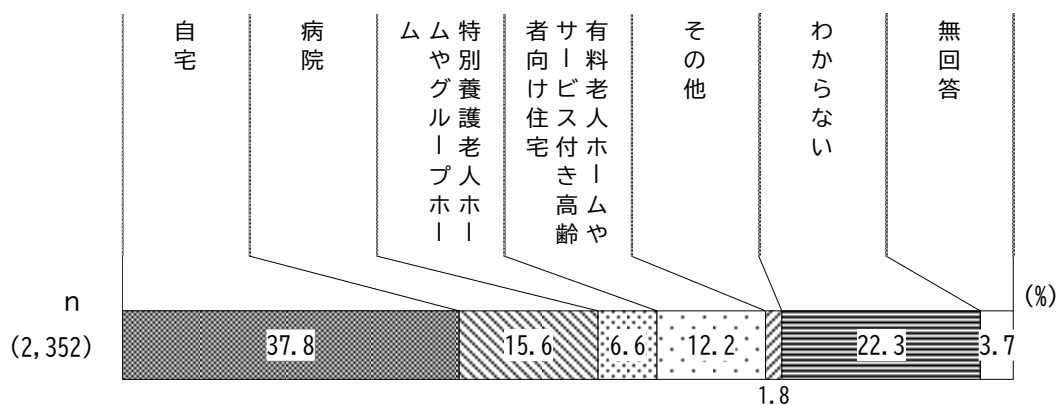
##### ●家族構成

家族構成は、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が39.1%と最も高く、次いで「1人暮らし」が27.7%となっている。



### ●最期を迎えたい場所

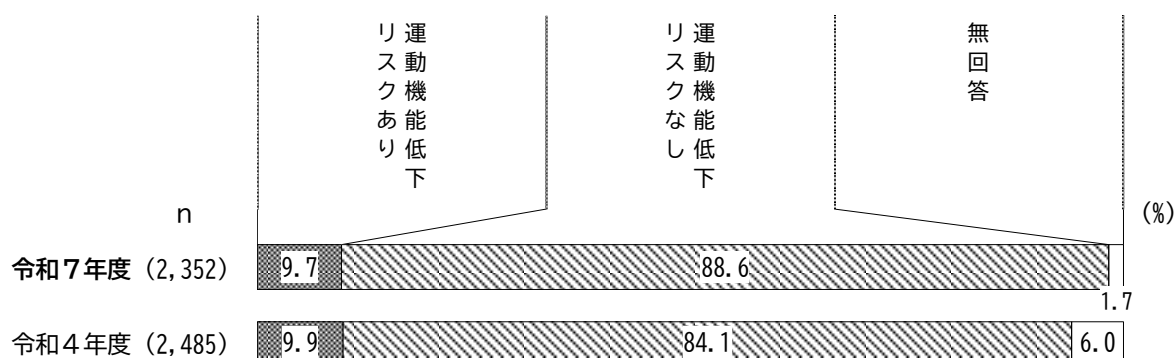
最期を迎えたい場所は、「自宅」が37.8%と最も高く、「病院」が15.6%、「有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅」が12.2%と続く。一方、「わからない」は22.3%となっている。



## (2) からだを動かすことについて

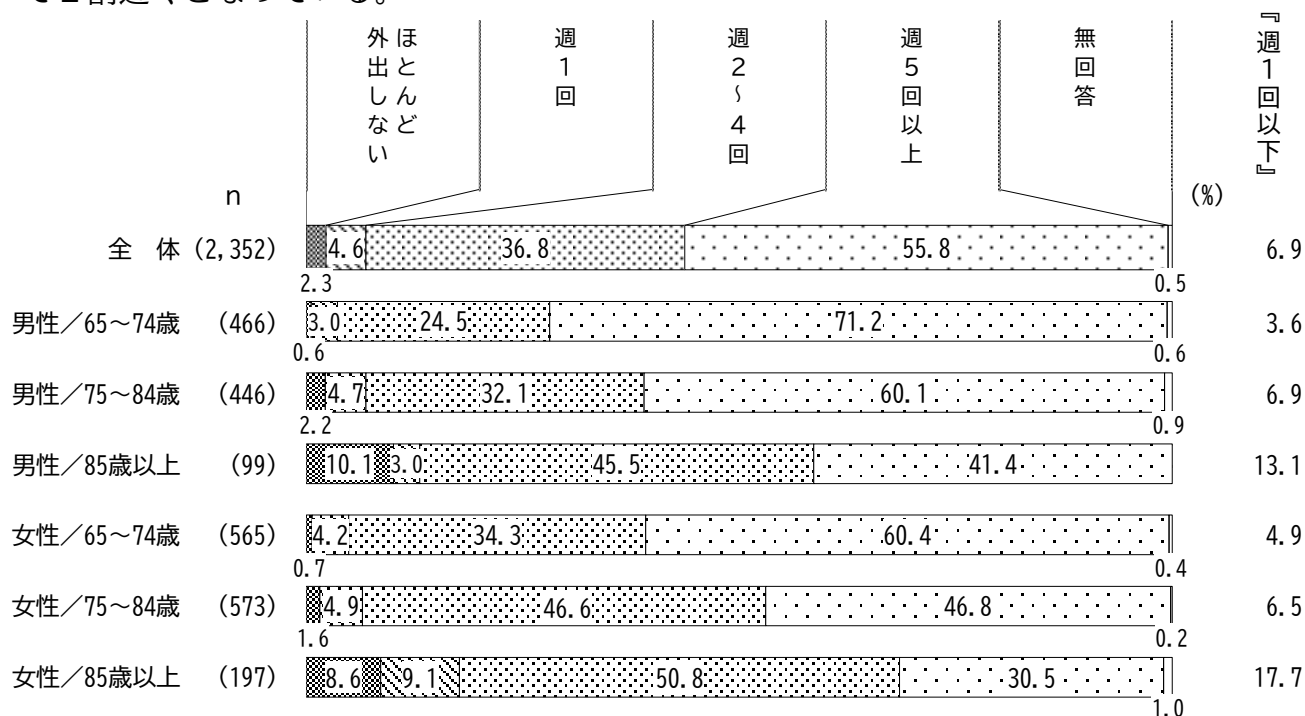
### ●運動器の機能低下リスク

過去の調査と比較すると、「運動機能低下リスクあり」は前回（9.9%）から特に大きな差異はみられないが、「運動機能低下リスクなし」は前回（84.1%）より4.5ポイント増加している。



## ● 1 週間の外出頻度

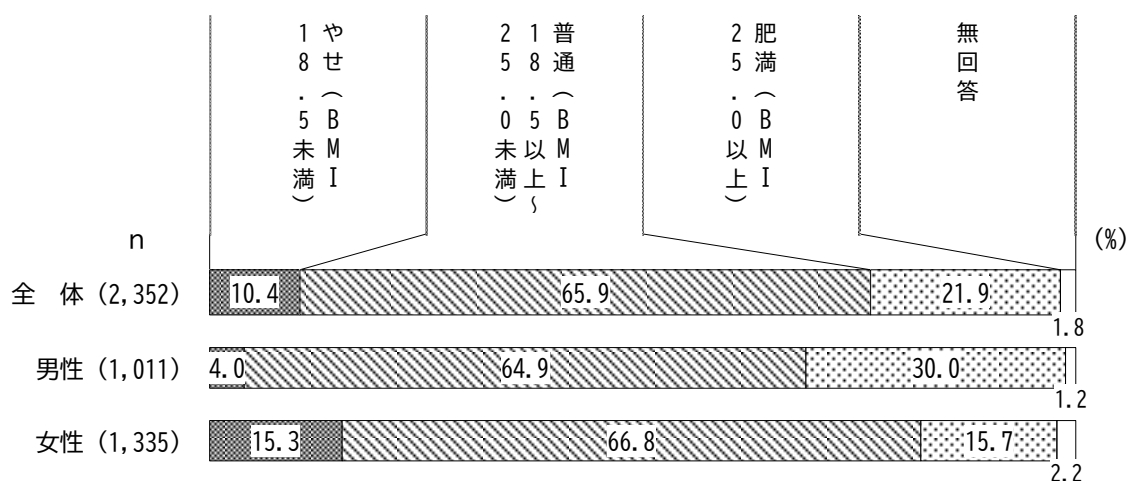
1 週間の外出頻度は、「週 5 回以上」が 55.8% と高く、「週 2 ～ 4 回」が 36.8% となっている。一方、「ほとんど外出しない」と「週 1 回」を合わせた『週 1 回以下』（閉じこもり傾向あり）は 6.9% となっている。性別・年齢別にみると、男女とも年齢が上がるほど『週 1 回以下』（閉じこもり傾向あり）の割合が高くなる傾向にあり、“女性の 85 歳以上”で 2 割近くとなっている。



## (3) 食べることについて

## ● BMI

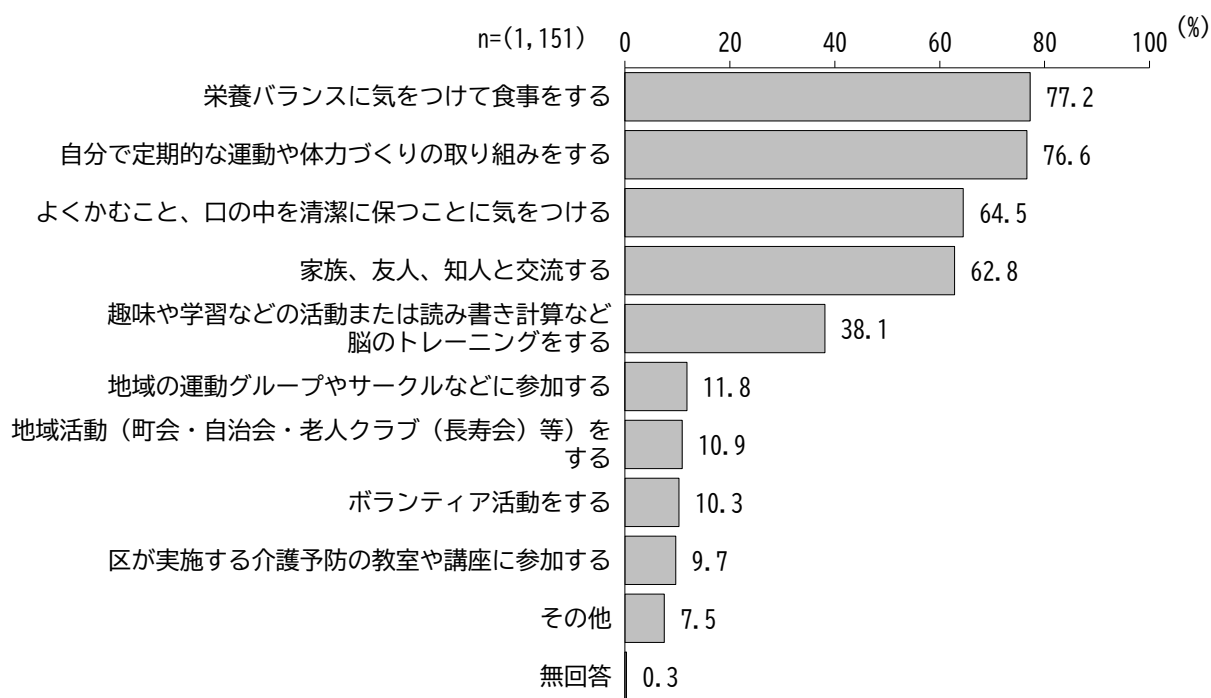
性別でみると、女性では「やせ (BMI 18.5 未満)」が男性より 11.3 ポイント高くなっている。一方、男性では「肥満 (BMI 25.0 以上)」が女性より 14.3 ポイント高くなっている。



# ●介護予防やフレイル予防に関する取組の実施状況

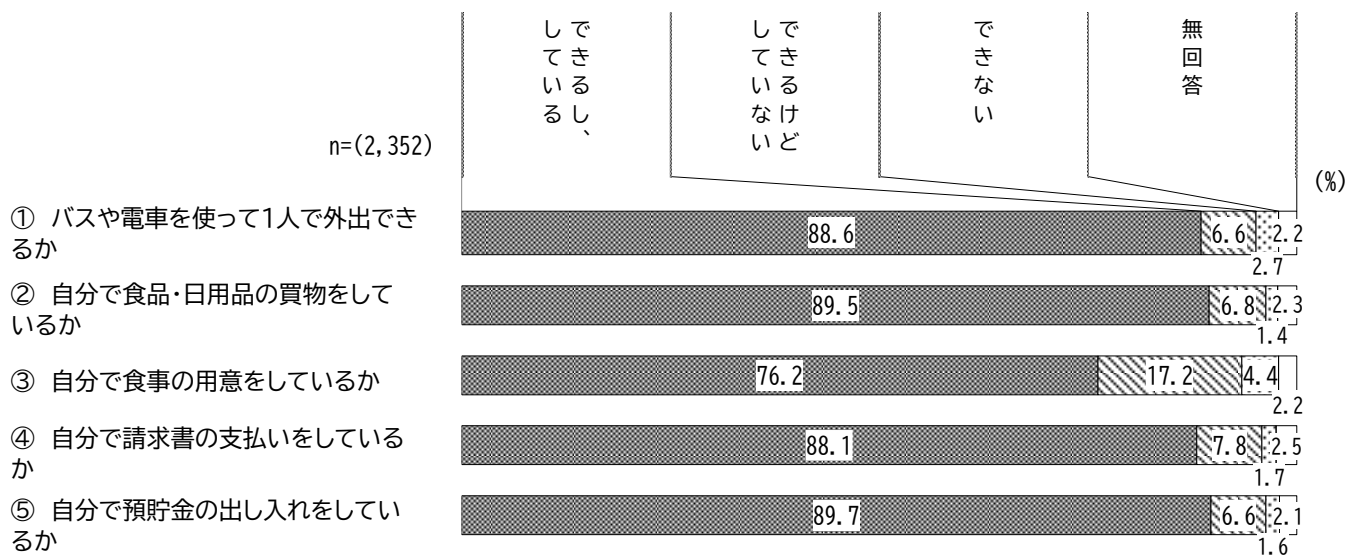
介護予防やフレイル予防に関して取り組んでいる内容は、「栄養バランスに気をつけて食事をする」が77.2%と最も高く、「自分で定期的な運動や体力づくりの取り組みをする」が76.6%、「よくかむこと、口の中を清潔に保つことに気をつける」は64.5%、「家族、友人、知人と交流する」が62.8%と続く。

(複数回答)



## (4) 毎日の生活について

### ●手段的日常生活動作（IADL）



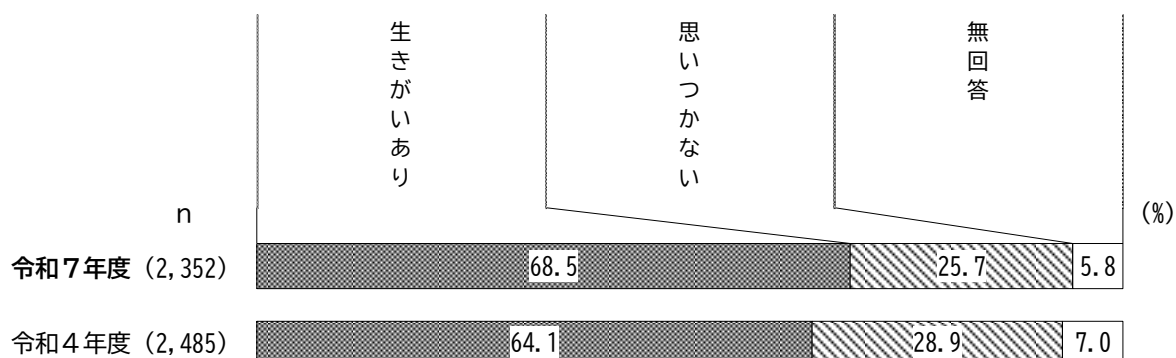
手段的日常生活動作（IADL）は、「高い（5点）」が90.5%、「やや低い（4点）」が4.3%、「低い（3点以下）」が2.2%となっている。

※手段的日常生活動作（IADL）計算方法：

①～⑤の動作で「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した人を1点、「できない」と回答した人を0点と加算

### ●生きがいの有無

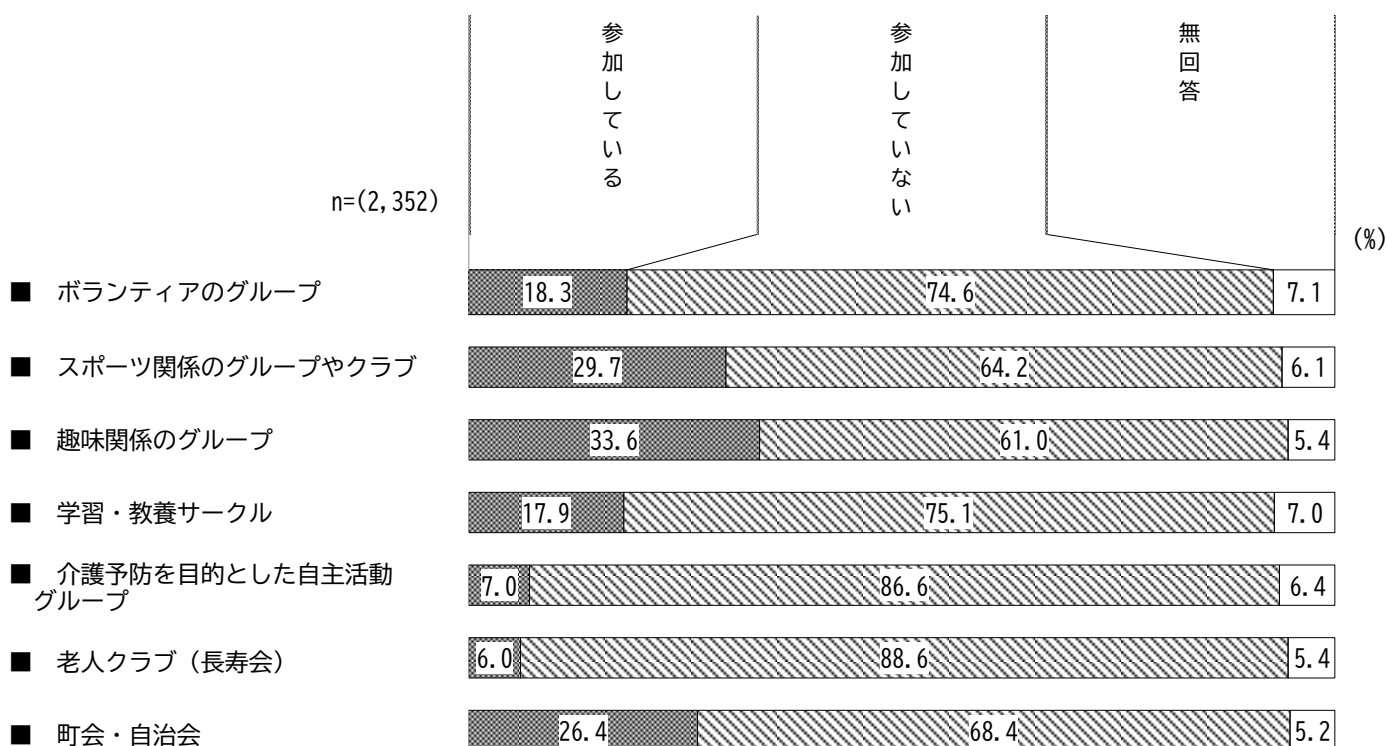
生きがいの有無は、「生きがいあり」が68.5%、「思いつかない」が25.7%となっている。過去の調査と比較すると、「生きがいあり」は前回（64.1%）より4.4ポイント増加している。



## (5) 地域での活動について

### ●地域活動の参加状況

「週4回以上」から「年に数回」までを合わせた『参加している』は、「趣味関係のグループ」が33.6%と最も高く、「スポーツ関係のグループやクラブ」が29.7%、「町会・自治会」が26.4%と続く。一方、「参加していない」は「老人クラブ（長寿会）」が88.6%と最も高く、「介護予防を目的とした自主活動グループ」が86.6%と続く。



### ■地域活動の参加状況の内訳

※下記表は、上記グラフ「参加している」の内訳（「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」）の割合を掲載したもの。

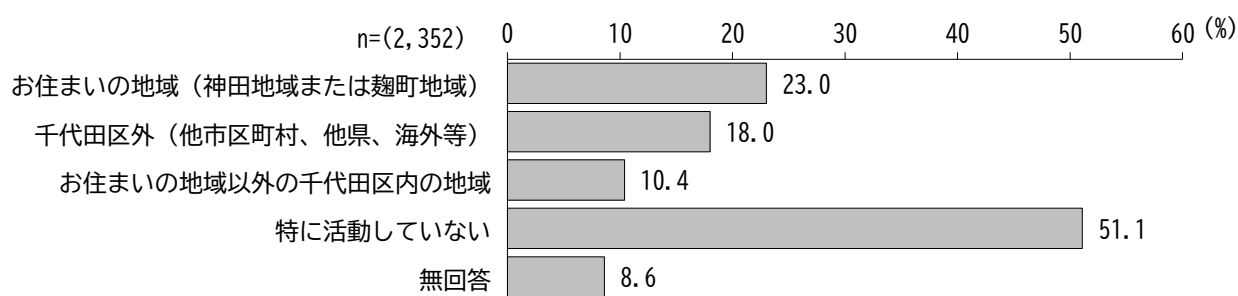
|                    | n     | 週4回以上 | 週2～3回 | 週1回 | 月1～3回 | 年に数回 | 参加していない | 無回答 |
|--------------------|-------|-------|-------|-----|-------|------|---------|-----|
| ボランティアのグループ        | 2,352 | 0.8   | 2.4   | 2.4 | 7.0   | 5.7  | 74.6    | 7.1 |
| スポーツ関係のグループやクラブ    | 2,352 | 4.1   | 8.2   | 9.5 | 5.1   | 2.8  | 64.2    | 6.1 |
| 趣味関係のグループ          | 2,352 | 1.1   | 4.7   | 7.7 | 13.4  | 6.9  | 61.0    | 5.4 |
| 学習・教養サークル          | 2,352 | 0.4   | 1.0   | 3.4 | 6.6   | 6.5  | 75.1    | 7.0 |
| 介護予防を目的とした自主活動グループ | 2,352 | 0.6   | 0.9   | 2.0 | 2.0   | 1.4  | 86.6    | 6.4 |
| 老人クラブ（長寿会）         | 2,352 | 0.0   | 0.2   | 0.2 | 3.1   | 2.5  | 88.6    | 5.4 |
| 町会・自治会             | 2,352 | 0.7   | 0.8   | 1.1 | 7.4   | 16.5 | 68.4    | 5.2 |

地域活動の参加状況は、「1つでも参加している」は60.9%、「1つも参加していない」は37.0%となっている。

●仕事以外で、イベント・社会参加、趣味・レジャー、サークル活動している場所

仕事以外で、イベント・社会参加、趣味・レジャー、サークル活動している場所は、「お住まいの地域（神田地域または麹町地域）」が23.0%、「千代田区外（他市区町村、他県、海外等）」が18.0%、「お住まいの地域以外の千代田区内の地域」が10.4%となっている。一方、「特に活動していない」が51.1%と5割を超えている。

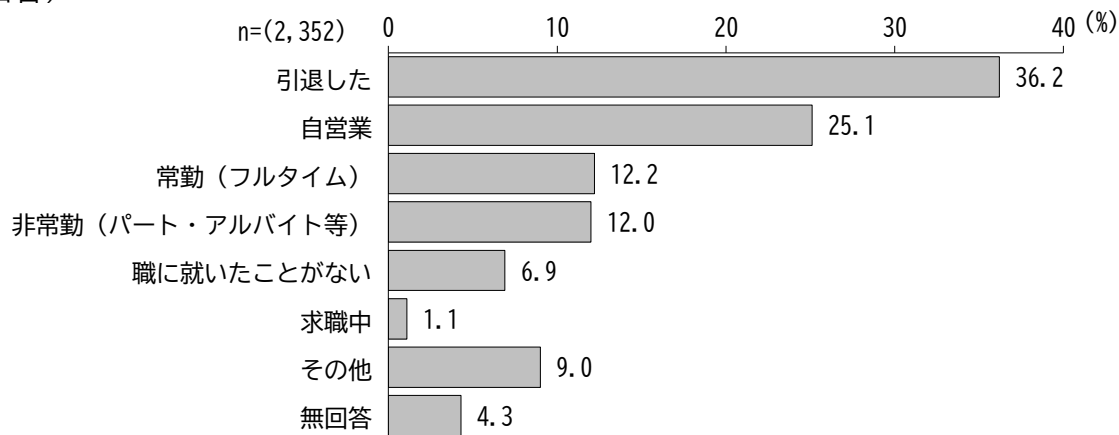
（複数回答）



●現在の就労状況

現在の就労状況は、「引退した」が36.2%と最も高く、「自営業」が25.1%、「常勤（フルタイム）」が12.2%、「非常勤（パート・アルバイト等）」が12.0%と続く。

（複数回答）

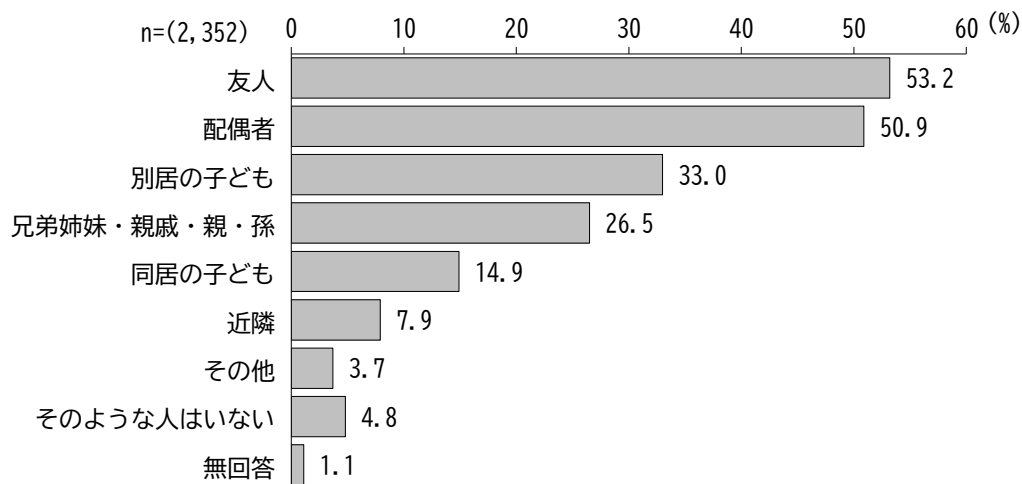


## (6) たすけあいについて

### ●心配事や愚痴を聞いてくれる人

心配事や愚痴を聞いてくれる人は、「友人」が53.2%と最も高く、「配偶者」が50.9%、「別居の子ども」が33.0%と続く。

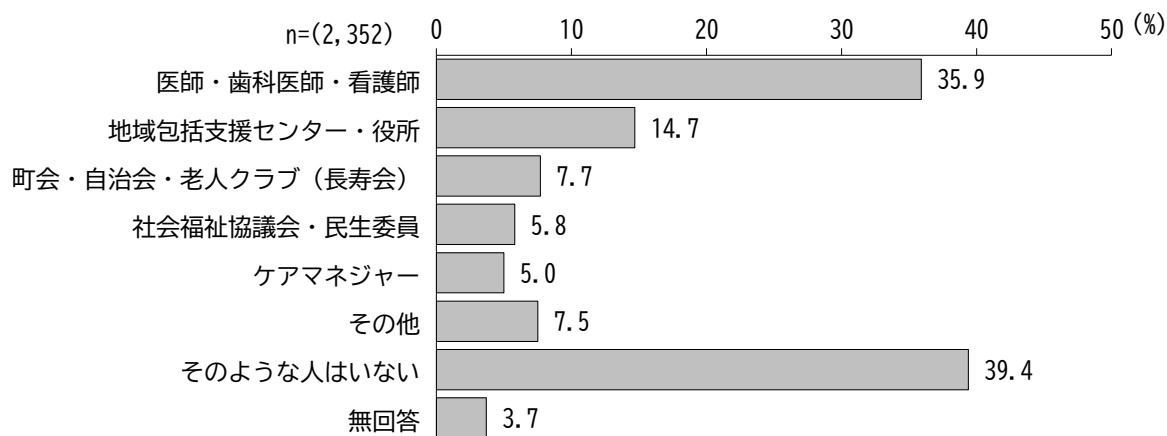
(複数回答)



### ●家族や友人・知人以外の相談先

家族や友人・知人以外の相談先は、「医師・歯科医師・看護師」が35.9%と最も高く、「地域包括支援センター・役所」が14.7%、「町会・自治会・老人クラブ（長寿会）」が7.7%と続く。一方、「そのような人はいない」が39.4%と高くなっている。

(複数回答)

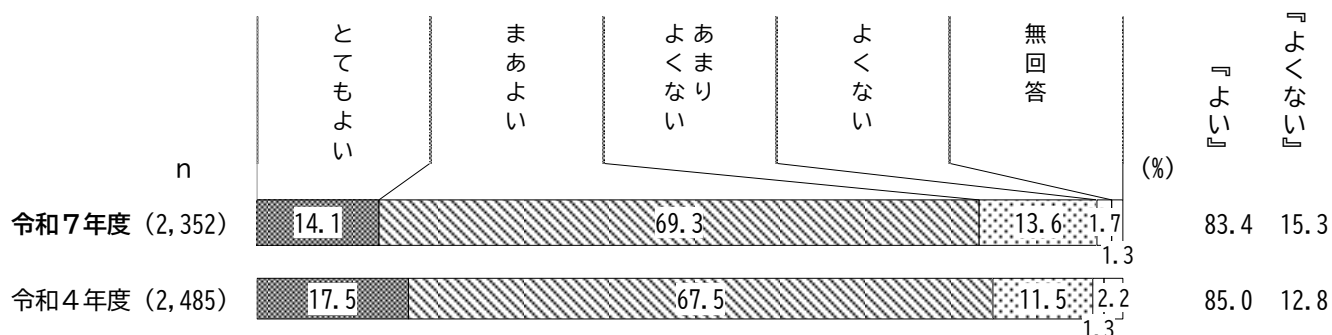


## (7) 健康について

### ●現在の健康状態

現在の健康状態は、「とてもよい」と「まあよい」を合わせた『よい』は83.4%、「あまりよくない」と「よくない」を合わせた『よくない』は15.3%となっている。

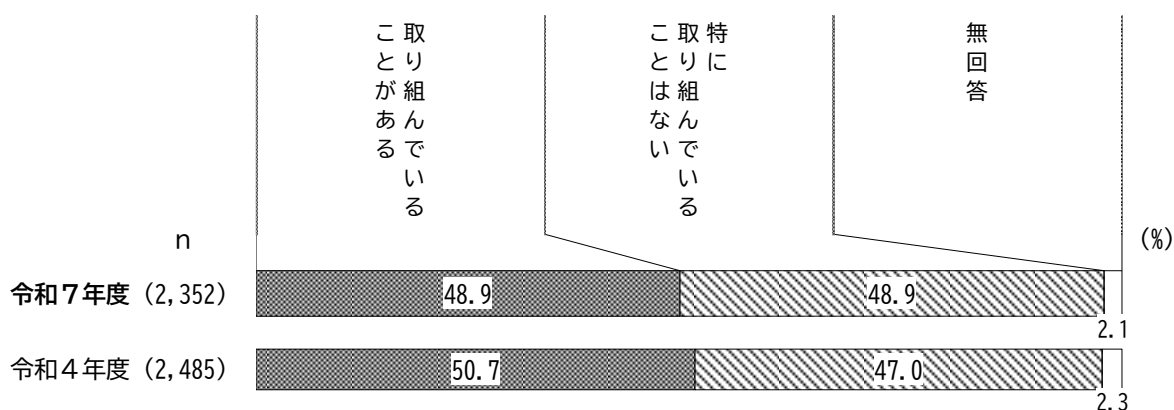
過去の調査と比較すると、各項目でわずかに増減があるものの、特に大きな差異はみられない。



### ●介護予防やフレイル予防に関する取組の実施状況

介護予防やフレイル予防に関する取組の実施状況は、「取り組んでいることがある」が48.9%、「特に取り組んでいることはない」が48.9%となっている。

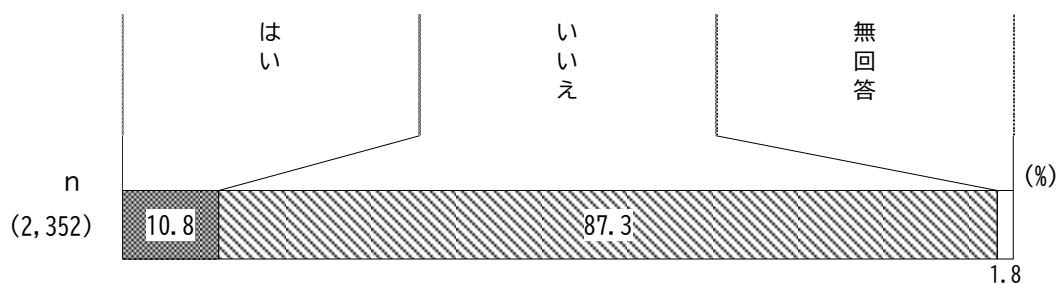
過去の調査と比較すると、各項目でわずかに増減があるものの、特に大きな差異はみられない。



## (8) 認知症について

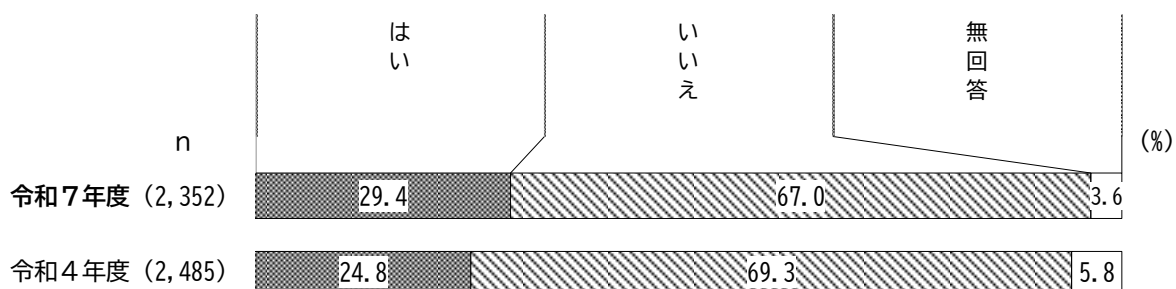
### ●認知症の症状がある人の有無

認知症の症状がある人の有無は、「はい」が10.8%、「いいえ」が87.3%となっている。



### ●認知症に関する相談窓口の認知度

認知症に関する相談窓口の認知度は、「はい」が29.4%、「いいえ」が67.0%となっている。過去の調査と比較すると、「はい」は前回から4.6ポイント増加している。

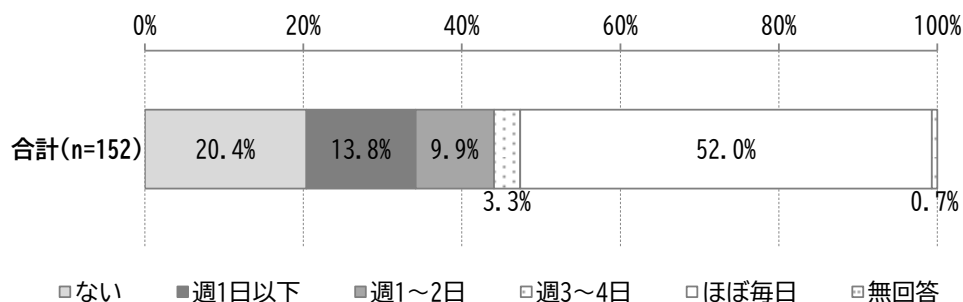


## 6 在宅介護実態調査 調査結果

### (1) 介護の実態について

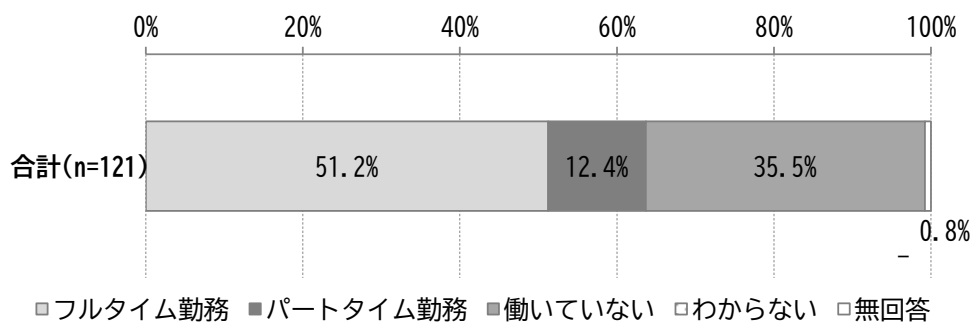
#### ●家族等による介護の頻度

家族等による介護の頻度は、「ほぼ毎日」が52.0%と最も高く、「週1日以下」が13.8%、「週1～2日」が9.9%と続く。一方、「ない」は20.4%となっている。



### (2) 介護者の就労状況と仕事の両立実態

#### ●主な介護者の勤務形態は、「フルタイム勤務」が51.2%、「パートタイム勤務」が12.4%、「働いていない」が35.5%となっている。



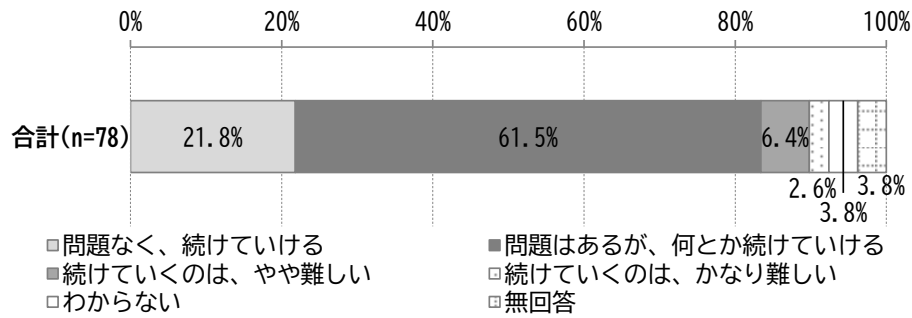
#### ●介護をしながら働き続けることへの見込み

介護をしながら働き続けることへの見込みは、「問題なく、続けていける」(21.8%)と「問題はあるが、何とか続けていける」(61.5%)を合わせた『続けていける』は83.3%となっている。一方、「続けていくのは、やや難しい」(6.4%)と「続けていくのは、かなり難しい」(2.6%)を合わせた『困難』は9.0%となっている。

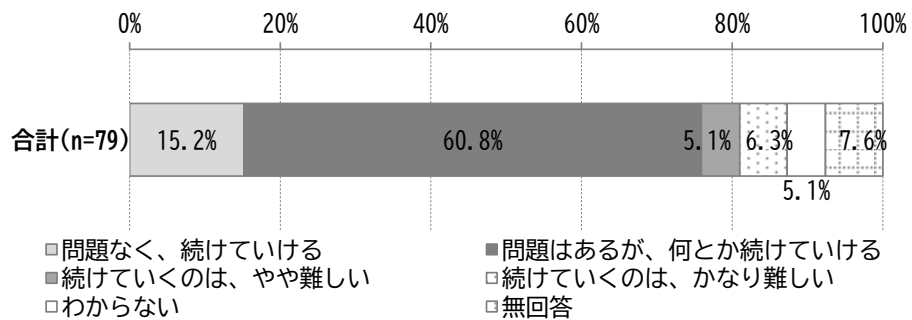
〔経年比較／介護をしながら働き続けることへの見込み〕

過去の調査と比較すると、「問題なく、続けていける」は前回（15.2％）から 6.6 ポイント増加している。

<令和 7 年度>

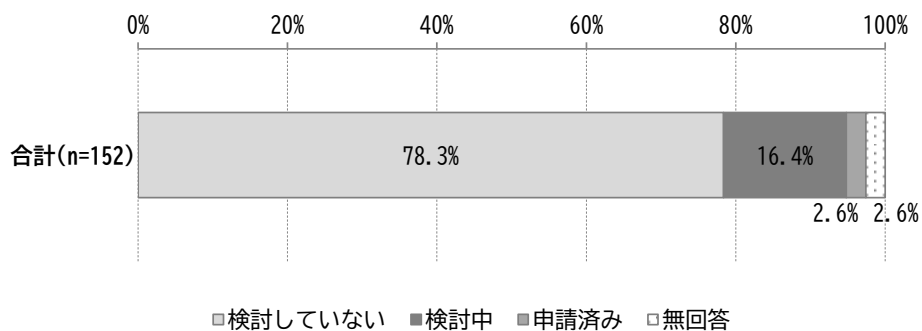


<令和 4 年度>



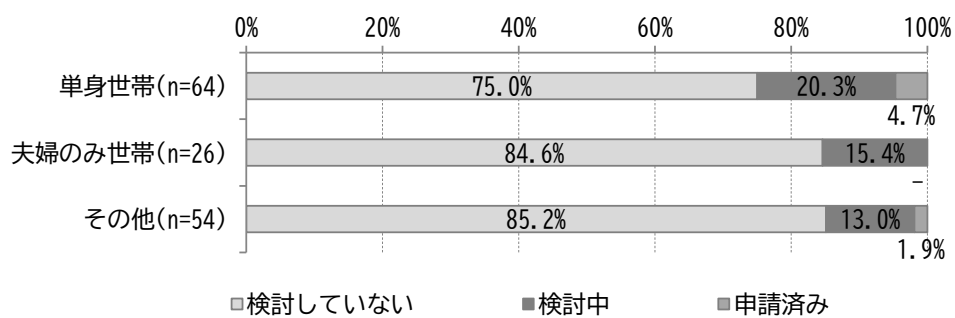
### (3) 施設入所の検討状況

介護施設等への入所・入居の検討状況は、「検討していない」が78.3%、「検討中」が16.4%となっている。



#### [世帯類型別／入所・入居の検討状況]

世帯類型別にみると、“単身世帯”では「検討中」が約2割と高くなっている。



#### (4) 介護者が抱える具体的な不安要素

主な介護者が不安に感じている介護について、「その他」(26.4%)を除くと「外出の付き添い、送迎等」が21.5%と最も高く、「認知症状への対応」が20.7%、「食事の準備(調理等)」が17.4%と続く。

合計(n=121)

